



吹田市議会議員

か み や ソ ウ ヘ イ

神 谷 宗 幣

ご挨拶

当選から半年が経ち、少し議員生活にも慣れました。仕事をすればするほど、議員としての課題が多いこと知り、また、その責任の大きさを実感しています。

公約どおり、教育行政の充実に正面から取り組んでいます。教育は人を育てる尊い活動ですが、その分一朝一夕にどうこうできるものではありません。一人でも多くの方の思いを通じ、大きな力で吹田の教育をより充実したものにしたいと思います。市民の皆様の声をお聞かせ下さい。



9月議会(9/28～10/18)での一般質問

〔問い〕 現在ある小学生社会の副読本を発展させて、小学生から中学生までが読める吹田や大阪の地域と歴史を学べる副読本が作れないものか。私は、学校で地域の歴史や文化を教えることで、子供達が地域に関心を持って、地域やしいては国のことを考えるようになり、やがて国際社会の中で、国家の利益や世界平和に尽力できる素養を身につけることができると考える。そうした取組みこそが教育基本法の理念に合うことになると思うが、本市は教育基本法の改正に伴って、地域の歴史や文化を子供達にどうやって伝えていこうと考えているのか。

〔答弁〕 教育基本法や学習指導要領の改訂を踏まえ、地域の歴史や文化に関する教育をより深めていくことは、今日的課題であると認識している。子どもたちが郷土の歴史を身近に感じ、誇りを持てるような歴史事実をわかりやすく教材化した副読本の作成については、今後、研究していく。
(他の質問は裏面をご覧ください)



私には特定の地域や団体の代弁者という意識がなく、市民全体の、しいて言えば若い世代の代弁者という意識で働いています。しかし、なかなか同年代の方々に市政に関心を持ってもらい意見をまとめることが難しいという感覚も持っています。

私は、豊かな地域とは、熱意ある若者が多く住む地域だと思うのです。年金に不安があっても、経済的に困難があっても、地域の若者に元気と真っ直ぐな気持ちがあることが分かれば、高齢者にも安心してもらえるのではないのでしょうか。いずれ我々も年をとります。その時に安心して暮らせる国や地域、そして人材を作るための活動を今から始めたいと思います。

こうした思いに賛同していただける方々と意見交換会などをしたいと思います。呼んでいただければ、地域を問わず伺います。ご連絡ください。

<http://www.kamiyasohei.jp>



地域のイチオシ先生 大募集！！

吹田市内の幼稚園・小中学校に勤務されている、あなたのイチオシ先生をご紹介します。実際に授業を受けて感銘を受けた先生、クラブ活動でとても頼りになる先生など吹田の教育のため、奮闘する先生を募集します。

自薦他薦は問いません。あなたのイチオシ理由をお書き添えの上、神谷までFAXしていただくか、もしくはホームページの投稿フォームにご一報下さい。神谷が学校訪問の際に実際に会ってお話を聞き、先生の活動や教育への思いホームページ上で発信していきたいと考えています。よい先生にはますますやる気を出して頂き、よりよい吹田の教育を実現するため、是非ご協力ください！

神谷 宗幣 (かみや ソウヘイ) : 昭和52年 福井県大飯郡高浜町生まれ
福井県立若狭高等学校卒。関西大学在学中に1年間海外をまわり、自分を含めた今の日本の若者はこれでいいのか、と疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業後、4月の地方統一選挙で吹田市議会議員に初当選。

「変えよう！若者の意識」をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中！

【質問】（平和祈念資料室の移転拡充と戦争体験記録集の発刊について前向きに取り組むとの市長、及び行政側の答弁を受けて）戦争を知らない世代の一人としてそうした取り組みは是非進めてもらいたいと思うが、単に「戦争は悲惨だ」ということを見た人に感じてもらうだけの内容では不十分だと考える。どうして戦争になったのか、また、戦争にならないためにはどうしたらいいのか、ということ若い世代や多くの市民に考えてもらえる内容にしてみたいと思うが、どのように考えているのか。

【答弁】二度と繰り返してはならない悲惨な戦争や平和の尊さについて、市民一人一人が考え、学びきっかけとなるような施設づくりに努めていく。

【質問】食育というと、栄養学的な教育や農業体験がなされることが多いようだが、どうやって食事をするのか、どのような食事をするのかということにも目を向けるべきではないか。人間生活にもっとも身近な「食」を通じ、家族や地域・郷土の人々、歴史、文化との結びつきを確認することも大切な「食育」ではないか。食文化・歴史文化から食事を考えるという意味での「食育」について、本市の取り組み状況や今後の構想をお聞きしたい。

【答弁】本年度より食育月間を設け、平成20年度に各校で策定予定の全体計画にモデルとして、伝統食や旬の食べ物など、日本の食文化についても盛り込むように検討していく。

9月議会(9/28～10/18)での一般質問の要旨

【質問】市長が選挙の際に公約に挙げられた、小学校3年生までと中学校3年生を対象とした35人学級の拡充は、市民や教育現場の先生方にとって大変関心の高いものであり、少しでも早く実施してもらいたい施策の一つ。その導入時期はいつ頃を考えているのか、今後の計画をお聞きしたい。また、教員の人材確保や予算はどうするのか。

【答弁】現在、平成21年度を目途に年次的に実施するため、モデル校実施を行い、課題検討及び効果測定を行うとともに、大阪府教育委員会が行った4カ年計画等を参考にしながら具体的な進め方を検討している。人材の確保や予算の課題などは、大阪府教育委員会及び関係部局と協議を進めている。

【質問】「学校裏サイト」とは、学校が公式に作るホームページではなく、生徒等が個人で作った非公式の匿名掲示板のことで、子供達は主に携帯電話を用いてサイトにアクセスしている。この裏サイトが、現在の新たないじめの舞台になっている。精神的に未成熟な子供達が危険な武器ともなりうる携帯電話を使用しているのをただ黙って見ているだけというのは、余りに無責任。学校教育の場で子供達に携帯電話の使い方・危険性を教え、親にも学校や行政が指導・呼びかけをすべきではないか。取組みなどを聞きたい。

【答弁】子供達に対しては、警察等関係機関とも連携を図りながら、学校における情報モラル教育の充実に努めている。保護者に対しても、携帯電話の所持、使用に関わる家庭でのルール作りや、特定の閲覧を規制する等のフィルタリング・サービスの利用の啓発をPTAなどを通じて進めている。

参考：V01.の通信に対し文字が小さく読みにくかったとのこと指摘を頂きましたので、文字を大きくしました。

柴田 勉(しばた つとむ)

経歴：H16 県立岡山芳泉高校卒業・H17 関西大学社会学部入学 在学中

趣味：スポーツ全般、読書(村上春樹など)

活動を通じて：

神谷議員は僕の大学の先輩にあたる方であり、選挙の時からお手伝いをさせて頂いています。神谷議員は常にポジティブで、行動力があり、僕達にいつも元気を与えてくれる存在です。神谷議員と一緒に活動をしなが、政治という普段踏み入れることのない世界に入っていくことができ、少しですがその雰囲気を感じ取ることができたと思います。しかし、その反面、僕は自分達を取巻く世界のことを本当に何も知らないということを痛感し、自分はまだまだ未熟であると感じさせられました。

このインターン経験から僕はどんなことでも自分から積極的に学ぼうとする姿勢が身に付きました。そして、政治に関する知識がついたこと、また、それ以上に精神的な部分で成長できたことがインターンの成果です。

インターン紹介！



みなさまの声を代弁します。

市政への要望・不満、行政への質問など、何でもお気軽にどうぞー

自宅：〒565-0821 吹田市山田東4-41 5-814号 電話・FAX 06-6567-8750

事務所：〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 市役所3F 電話 06-6337-6928(直通)

H P : <http://www.kamiyasohei.jp>

MAIL : info@kamiyasohei.jp

